

2026年度地球環境基金助成金交付要望書の採択について（総評）

2026年3月2日
地球環境基金助成専門委員会

地球環境基金は、2026年度の助成金について、2025年10月14日（火）正午～11月17日（月）13時まで募集を行い、335件、1,445百万円（※1）の応募がありました。

助成専門委員会は、団体から提出のあった交付要望書について、2026年度地球環境基金助成金募集案内の審査方針に基づき採否に係る審議を行い、143件、577百万円（※1）の採択案を機構に提言します。

- 1) 創意工夫のもと、新たな環境保全活動に挑戦しようとするものを支援する通常助成（基礎型）に係る応募は、66件、97百万円でした。採択としたのは、15件、21百万円です。
- 2) 環境保全活動を定着させ、組織の成長と社会課題解決を目指していくものを支援する通常助成（発展型）に係る応募は、181件、930百万円でした。採択としたのは、63件、279百万円です。
- 3) 政策課題について、市民社会に期待される活動と連携して取り組むものを支援する戦略プロジェクト（政策課題協働型・代表団体）に係る応募は、2件、20百万円でした。採択としたのは、2件、20百万円です。
- 4) 政策課題について、代表団体と連携して取り組むものを支援する戦略プロジェクト（政策課題協働型・実行団体）は、課題1「世界基準と整合性のある社会課題解決型自然共生サイト推進事業」に係る応募は1件、7百万円でした。採択としたのは、1件、7百万円です。課題2「脱炭素地域づくり推進に向けた中間支援機能及び重層的な支援体制の構築」に係る応募は4件、27百万円でした。採択としたのは、2件、15百万円です。
- 5) 環境問題を含む複合的な地域の課題への取組を通じて持続可能な地域づくりに向けた地域の担い手づくり、仕組みづくりへ支援する戦略プロジェクト（地域協働型）に係る応募は、21件、125百万円でした。採択としたのは、3件、32百万円です。

- 6) 継続団体を対象とするつづける助成に係る応募は、10件、24百万円でした。採択としたのは、10件、22百万円です。
- 7) 継続団体を対象とするひろげる助成に係る応募は、35件、168百万円でした。採択としたのは、35件、146百万円です。
- 8) 継続団体を対象とする、先進的な環境保全活動のフロントランナー助成に係る応募は1件、6百万円でした。採択としたのは、1件、6百万円です。
- 9) 継続団体を対象とする、他のNGO・NPOと横断的に協働・連携するプラットフォーム助成に係る応募は3件、19百万円でした。採択としたのは、3件、16百万円です。
- 10) 地球環境基金企業連携プロジェクトとして実施する、清掃活動など水辺の環境保全活動を対象とする LOVE BLUE 助成に係る応募は11件、17百万円でした。採択としたのは、8件、8百万円です。

地球環境基金の2026年度助成金に多数の応募をいただきましたが、全ての案件を採択することはできず、募集案内に示す審査方針に基づき厳正な審議を行い、限られた予算の範囲内で、活動目的を達成するための具体的な計画（実施内容、実施方法、スケジュール及び予算など）が詳細に立てられている交付要望案件から採択としました。

今後、環境再生保全機構は、採択とした143件の団体と個々に調整し、活動内容及び活動計画、予算との整合性などを再確認したうえで、交付決定を行います。いずれの団体も、助成活動の実施により所期の目的が達成され、活動を通じて専門性や組織力が上がることを期待しています。

(※1) 要望金額および採択金額の合計は、百万円未満切捨のため合計が合致しない場合があります。